

絹本着色存牟本誓画像 1幅 附1巻

絹本着色存牟本誓画像

けんぽんちゃくしょく そんむほんよがぞう

分野／部門

有形文化財／美術工芸品[絵画]

所有者

宗教法人 一心寺(いっしんじ)

所在地

大阪市天王寺区逢阪2

紹介

法量：52.3×20.3cm



一心寺は文治元年(1185)に法然が建立したと伝える浄土宗の寺院で、日想観の聖地に位置する、浄土教信仰と関係の深い寺院である。

豊臣期から江戸時代初期に徳川氏の帰依を受けて寺観を整えたが、この再建期の史料が一括して伝来している。大阪市内に残る寺社縁起史料としては早い時期のもので、近世初頭の大阪を窺い知る歴史資料としての価値も高い。

中興期の住持である存牟本誓画像はそのひとつで、頭巾と墨染の袈裟をまとい上畳に右向きに坐す姿を描く。

元和7年(1621)の自身による賛文があり、市内に残る僧侶の肖像画としても早い時期の画像である。

18世紀前半に後の住持高誓が記した、本誓の「中興存牟上人行状記」1巻を附する。